

# 北河内会報 自然愛好会

2022年4月25日 No.113

北河内自然愛好会発行

事務局：大東市野崎 3-7-7

西畑敬一 方

ホームページアドレス：<http://www.cc-net.or.jp/~ja3aeh/3shizen/3-3kitakawati.htm>

## 2022年度北河内自然愛好会総会要項（決定事項）（太田・記）

日時：2022年1月29日（土）13時30分受付開始、年会費の受付。

場所：大東市立野崎まいり公園多目的ホール（大東市野崎2丁目6-10）

総会議事（14：00～）（ ）内は担当者・敬称略

1. 開会宣言（司会：太田 理） 2. 西畑敬一会長挨拶 3. 2021年度行事報告（田中光彦）  
4. 2021年度会計報告（稲原良三） 5. 2022年度行事計画（田中光彦） 6. 2022年度予算（稲原良三）  
7. 『北河内植物目録改訂版』発行について～当会創立30周年記念事業（木村雅行） 8. 北河内自然愛好会観察会400回「例会記録アーカイブズ」作成について（太田理）会報41号～77号（第171回～第315回）の入力済み（田中さん）。会報78号～104号（第316回～第400回）の入力済み（太田）会報1号～40号（第1回～第170回）入力済み（太田）。ただし、田中さん、太田の書式が統一されていません。その手直しが必要。完成すれば数十ページになるので、紙媒体にするかCDにするかなど、運営委員会に諮り決定したいと考えています。

9. 『北河内のキノコ目録』冊子発行について（田中光彦）

10. 会長・会計・運営委員選出・紹介（西畑会長）会長：西畑敬一、会計：稲原良三、運営委員：栗田泰子、稲原ヒサエ、太田理（会報編集）、北川ちえこ、木村雅行、鈴木永子、高見君江、田中光彦、長島照文、中町芥子、中山千代美、西村寿雄

11. 会員発表（14：40～16：00）

1. 報告・四條畷市・下田原の里山、里山一斉調査、27年間の調査の報告（太田 理）
2. 報告・京都府立植物園整備計画見直し署名活動、その後（田中光彦）
3. 報告・ニホンツキノワグマとナキウサギの現状と保護について—森林再生の観点から—  
栗田泰子 4. 報告・飯盛城跡国史跡指定と市民活動（太田 理）

12. 閉会宣言（太田 理）（16：00）

## 2021年度行事報告（ ）内は担当者・敬称略

1月 2021年度総会 1/30（土）14：00～15：30 大東市立野崎まいり公園多目的ホール 2月例会開催せず。3月 420回例会 3/27（土）「野草を食べる—山田池公園」（西畑敬一・稲原良三）4月 421回例会 4/11（日）自主参加「下田原の里山・里山一斉調査」四條畷市（太田 理）422回例会 4/29（木・祝）「淀川・三矢ワンドの植物」（木村雅行）中止 423回例会 5/5（水祝）「木津川河川敷の植物」（田中光彦）中止 424回例会 5/29（土）「淀川・城北ワンドの植物（ヤセウツボの群落等）」（田中光彦）中止 8月休会 9月 422回例会 7/8（木）→9/14（火）「穂谷のキノコ観察」（田中光彦・下野義人先生）9月例会 9/ 「星田園地の植物（アイナエ等）」（田中光彦・栗田泰子）（実施せず）10月 423回例会 10/16（土）→10/2（土）「天王山・小倉神社付近の植物」京都府大山崎町（栗田泰子）424回例会 7/24（土）→10/23（土）「私市・大阪市立大学附属植物園での観察」（平 研）11月 425回例会 11/23（火・祝）「大和川の川原の石・柏原市」（西村寿雄）運営委員会 11/20

## 2022年度行事計画（ ）内は担当者・敬称略

1月 1/29（土）2022年度総会 14：00～16：00 場所：大東市立野崎まいり公園多目的ホール  
2月 426回例会 2/26（土）「鶴見緑地公園・咲くやこの花館温室」（鈴木永子、高見君江）  
3月 427回例会 3/26（土）「野草を食べる—山田池公園」（西畑敬一、稲原良三）  
4月 428回例会 4/10（日）自主参加「下田原の里山・里山一斉調査」四條畷市（太田 理）  
429回例会 4/23（土）「穂谷散策」（西畑敬一）  
5月 430回例会 5/3（火・祝）「淀川・三矢ワンドの植物」（木村雅行）

6月 431 回例会 6/4 (土) 「淀川・城北ワンドの植物 (ヤセウツボの群落等)」 (田中光彦)

7月休会 8月休会

9月 432 回例会 9/3 (土) 「星田園地の植物 (アイナエ等)」 (栗田泰子)

10月 433 回例会 10/ 「キノコ観察」 (長島照文・下野義人先生)

11月 434 回例会 11/ 「六甲の紅葉」 (中町芥子・稲原良三) 11月運営委員会

◇例会内容は変更することもあり、会報発行時の「例会案内」でお確かめ下さい。

◎参加者：栗田泰子、稲原ヒサエ、稲原良三、太田 理、岡田三千代、影千恵子、北川ちえこ、木村雅行、鈴木永子、高見君江、田中光彦、長島照文、中町芥子、西畑敬一、波多野恵子、山田晃 (以上 16名)

## 第 426 回例会「鶴見緑地公園 咲くやこの花館」大阪市 2022 年 2 月 26 日 高見君江

コロナ禍に追い打ちをかけるかのような寒さ続きの 2 月、もしや「参加者ゼロ、担当者 2 名のみ」かも、と不安を抱えながら集合場所に着く。するとそこには愛好会の誇れる重鎮メンバーの姿があり、すっかり大船に乗った気分であまり丸投げの気軽な進行を決め込み、8 名の参加者でまずは入館。温室に一步足を踏み入れたとたん歓声があがる。春の陽気を通り越した熱帯のジャングル、見事なまでに着飾った美人コンパニオンたちのお出迎え？かと錯覚するほどの華麗なランたち。以前来館したはずなのに、左右上下と観察の眼がおいつかない。花の色、形、葉の妙…どこに視点を当てようかと迷う。参加者の足取りも遅々として進まない。

ご存じのように、ここは 1990 年開催の EXPO'90「国際花と緑の博覧会」に建設され、植物約 5,500 種 15,000 株を栽培している世界の植物に出会える日本最大級の温室である。今更ながらその規模を再認識させられる。多種多様な植物たち、その多さもさることながら、馴染みのない名称だらけに、担当者は早々に手にしたメモをしまい込む。

さて、進路左にロータスガーデンエリア水辺の植物、ハスやスイレン水草各種。ここも目に鮮やかな花たち、流線美を競う水草、年中水温 28℃。さすがに冬眠寸前の老体にも「春の芽吹きが始まったか？」と思いきや全身の汗ばみ、思わず上着を取る。このエリアで係の方が「オヒルギ (マングローブの一種) の花が咲いていた」と教えて下さる。四季すべて良いのだろうが、冬にこそ訪れるべき所だと思った。

次に熱帯雨林室へと進む。ここにもカトレアやデンドロビウムなど多くのラン種、これらも美女揃い。その奥で何やらシダなど観察しているのは愛好会の殿方たち。どこからか「まさしく美女と…?の構図!!」との声が聞こえたような…。空耳として処理し先へと進む、と言っても亀のごとき歩み。

熱帯花木室。バナナ、マンゴー、パパイヤなど南国の果実さまざま。中にカカオがいくつも実を付けていて幹に付いた白い小さな花が意外だった。その近く天井に届きそうな大木 (キワタ)、見上げると実って白い綿が数か所ふわふわと。見上げた首が疲れ視線を戻すと、ショクダイオオコンニャクがすつくと立ち、左右に大きく葉を広げている。現在大阪市立自然史博物館で開催中の「植物展」で実物大の花模型が展示 (4/3 まで)。花はなかったので強烈だという臭いは免れたが、姿から大きさが想像できた。

また、何やら気になる木、学名はスルーしたが和名タビビトノキ。旅人が葉の付け根にたまった水分を飲んだとも、葉の向きで方角を知ったとも言われるそう。種子はきれいなコバルトブルーで、

物語の世界に誘ってくれそうな気になる。

熱帯から室温が徐々に下がっていき次のエリア。ケースに仕切られウサギゴケなどの極小のものが守られている。乾燥地ではサボテン群。ここもまた奇しい限りの造形美。なぜそこまでトゲトゲで身を守るのか？学問的解説は別にして、素人は「それほどに身を守ろうとしているのはきっとおいしさを隠しているのでは」と愚かなことを思ってしまう。しかしどれも微に入り細に入り美しい花を冠している。中には思わず頬ずりしたくなるような（ムリです！）モフモフ感を醸しているものもあった。

いよいよ高山へと向かう。20℃以下、だんだん現実に戻される。高山の女王「コマクサ」などお馴染みの花々、ここではどれもはかなげだが、登山通の方は山のあるべき場所で咲き誇っている姿に出会っていることだろう。このエリアでの一押し「ヒマラヤの青いケシ」メコノプシスが凜として目を引いている。調整で年中咲かせているそう。

12時過ぎ中央フラワーホールで休憩・昼食、その後館外で一旦解散。

一羽のみ飛来しているとの情報を得ていたアメリカヒドリの観察に大池へ。あれこれ探していると、鳥愛好家らしき方が「向こうにいたよ」と声をかけて下さり一斉に近づく。頭に白い筋、目の横にくっきりと緑の線が美しい。時間により、トモエガモも一つがい見かけられるようだが、出会ってみたいものだ。

何も満足に先導できずじまいの担当者に最後までお付き合い下さった参加者の皆様、感謝です。ありがとうございました。

◎参加者：稲原良三、稲原ヒサエ、鈴木永子、妹尾雅弘、高見君江、田中光彦、長島照文、西畑敬一（以上8名）

**※第427回例会「野草を食べる」は中止になりました。**

**第428回例会「下田原の里山・里山一斉調査」四條畷市 2022年4月10日 太田 理**

4/5 下見の時は飯盛霊園の桜は満開でしたが、わずかの日ですっかり葉桜になっていました。18名の参加で始まりました。霊園を出て R163 の道沿い、早速観察が始まり、外来種多数の中で、カンサイタンポポや、いわゆるスマレが道のアスファルトの隙間から咲いていました。信号を渡ってすぐ、いつものオオイタビ、中身の確認。田原台一丁目住宅地からすぐ山道に入りました。

ミツバアケビやモチツツジなど見ながら何と言ってもコバノミツバツツジのピンクが冴えています。蜜蜂の巣箱は今年も設置されていましたが、いたずらか蜜蝋が巣箱の外に散乱していました。

（翌日一応養蜂店には知らせておきました。）足元にはシハイスミレ。送電線の鉄塔のところではアオモジが何本も確認されました。今まであまり気付かなかったものです。しかし、この尾根道は頭上の送電線の下を右に左に蛇行していて、おそらく「閉電道」だろうと思います。それでか、送電線下の樹木が伐採されて、中には枯れているものもあります。木の幹に大きな引っかき傷がついていました。幅5mぐらいです。リスだろうか？それにしても大きすぎる。アライグマは木に登る？

メジロやシジュウカラの鳴き声を聞きながら、ヤマザクラが遠目に見事な姿を見せてくれていました。シダ類が繁茂するところはイノシシの寝屋のようです。以前はミヤマウズラが何株かあったのですが、それも見られなくなりました。動物のフィールドサインが見つかるとしたらこの尾根道ですが、今年もあまり見つかりません。

尾根道に別れを告げ下っていく途中でイノシシのヌタ場が見えました。薬尾寺池畔で休憩。この堤防でウサギのふんを下見の時に見つけておきました。ヤマトサンショウウオ（これまでカスミサンショウウオと呼んでいましたが、最近細かく分類されて当地のはヤマトサンショウウオと呼ぶようになったとのことです）が産卵に来る水溜まりでは今年も卵のうは見られません。ニホンアカガエルのオタマジャクシがうじゃうじゃいました。ここから堂尾池までの道端にはキランソウ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、チゴユリ、ショウジョウバカマ、ムラサキケマンなど春の野草が見られました。

堂尾池畔に 12 時半頃に到着、そこで昼食、その後まとめの会をしました。里山一斉調査は今年で 28 年目。2000 年に確認開始したヤマトサンショウウオは 2019 年以来見られていません。キツネの生息も 2014 年が最後でした。田原の里山も自然が変貌してきているのでしょうか。

◎確認した動物：イノシシ、ノウサギ、モグラ類。

◎確認した野鳥：ウグイス、ハシブト・ハシボソガラス、コゲラ、シジュウカラ、スズメ、ツバメ、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、イソヒヨドリ、水鳥等。

◎確認した草花：カキドオシ、ケキツネノボタン、キュウリグサ、キランソウ、ゲンゲ、シュンラン、ショウジョウバカマ、タネツケバナ、チゴユリ、ハハコグサ、ホトケノザ、ムラサキケマン、ムラサキサギゴケ、ヤエムグラ、カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ、ヒメオドリコソウ、オオバコ、ツボミオオバコ、ナズナ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、スミレ、タチツボスミレ、ナガバナタチツボスミレ、シハイスミレ、ニオイタチツボスミレ、オオイヌノフグリ、ハコベ、ウシハコベ、ミツバツチグリ、カタバミ、アカカタバミ、オヘビイチゴ、ミヤコアオイ、コ克蘭、シラヤマギク、ツルリンドウ

◎参加者：磯田一雄、太田理、西畑敬一、山田晃、寝屋川市の方、保全協会参加者（以上 18 名）

## 第 429 回例会「穂谷散策」枚方市 2022 年 4 月 23 日（土）

西畑敬一

晴天に恵まれ、春真っ盛りの例会、13 名のメンバーと共に久しぶりの穂谷を歩く。出発して間もなく赤い花穂をつけた植物が目止まる。園芸種のベニバナツメクサ（ストロベリーキャンドル）が何処からか逃げだしたものらしい。周辺を見渡してみろと一段高いところの畑に栽培されているのが判明、ここからのこぼれ株とわかり一同納得。歩をすすめていくとその先には見慣れた野草とともにウラシマソウがあたかも釣り糸を垂れている様子の株を中心に数株が群生しその付近には黄色いツヤのある花卉をひろげたウマノアシガタや紫の花がかわいいタツナミソウが咲き道端には今年豊作と言われるタケノコやワラビが顔をだしている。農道に出る手前の土手には近年少なくなったヒメハギやカナビキソウが見られコメガヤもみられた。穂谷では珍しいカゴノキには標識調査がなされていた。

農道に入り進んでいくと山側では桜がまだ花をつけていた。山際では白い花が目立つガマズミの仲間のコバノガマズミやミヤマガマズミ、ガマズミ、が見られ。また、バラ科のカマツカなども自分を主張していた。ここでも竹林わきの道にはタケノコがあちこちに顔を出し、ワラビ、イタドリと共に参加者の食指をそそっていた。新緑の若葉が美しいなか心身を癒されながら、あれこれ探索しながら歩いて行くが例の如く牛歩の歩みである。興味と、観察心旺盛なメンバーに圧倒されなかなか前には進めない状態である。美しい穂谷の景観も少し変わったようで休耕田や放棄田が以前より多くなった感じがした。

目的地の場所にはお昼前には到着予定だったが少しオーバーして到着。昼食タイムとする。昼食場所近くのササ藪の獣道を探索して久々のフデリンドウの開花に出会う、10 数株が開花して我々を

迎えてくれた。又、周辺の草地ではギンランらしき株も数個見ることができた。参加者一同多めに満足して、元来た道を U ターンして帰路に着く。

帰りも行きに気がつかなかった植物を追加しながら一路下山、中でも野生ランを数株見つけられたのは収穫だった。集合写真を撮影して春の穂谷を満喫して予定通り午後 3 時にバス停に到着、ここで解散とする。参加者のみなさん本日はお疲れ様でした、有難うございました。

◎穂谷で見た植物 (130 種) 2022 年 4 月 23 日 北川ちえこ

(見落としもたくさんあると思いますが見た順に書きます。)

スイバ (花)、サツキ (花、植栽)、オオイヌノフグリ (花)、コメツブツメクサ 2、オランダミミナグサ 2,3、ドクダミ 1、ヒメオドリコソウ (花)、キランソウ (花)、オニタビラコ (花) 2、キュウリグサ (花)、セイタカアワダチソウ、アカカタバミ (花)、ヒメブタナ (花)、ブタナ (花)、アオツヅラフジ、アオスゲ (花)、カラムシ、ノビル、カンサイタンポポ (花)、ノゲシ (花)、オッタチカタバミ (花)、スギナ、タチイヌノフグリ (花)、ベニバナツメクサ (花、植栽)、スズメノヤリ (花)、コバンソウ (花)、ヤブガラシ、シロツメクサ、カスマグサ (花)、スズメノエンドウ (花)、カラスノエンドウ (花)、ユキヤナギ (花、植栽)、ホタルブクロ、ヤブツバキ (花)、アオカモジグサ (花)、モチツツジ (花)、フジ (花)、ニワゼキショウ (花)、ウマノアシガタ (花)、タツナミソウ (花)、ニガナ (花)、スマレ (花)、カキドオシ (花)、クサイチゴ (花)、アオウシノケグサ、ワラビ、ツメクサ sp (花)、コウヤボウキ、ヒメハギ (花)、ナツハゼ、アオキ (花)、イタドリ、ウラシマソウ (花)、ヤブニンジン (花)、オヤブジラミ? ナガバハエドクソウ、コナスビ (花)、ミドリハコベ (花)、コメガヤ (花)、ハラシ (植栽?)、ムラサキケマン (花)、ヤブコウジ (蕾)、ムラサキハナナ (花、植栽)、ミミナグサ (花)、シャガ (花)、コマツヨイグサ (花)、ハルジオン (花)、ツボスミレ (花)、ミゾイチゴツナギ (花)、モミジイチゴ、カマツカ (花)、ツクバネウツギ、ミヤマガマズミ (花)、ヤブムラサキ (蕾)、ミヤマウグイスカグラ (花)、オオジシバリ (花)、ノアザミ (蕾)、ショウジョウバカマ (果実)、ツリガネニンジン、ゼンマイ、ヨメナ、アカネ、サルトリイバラ、シュンラン、カクミノスノキ (果実)、コバノカマズミ (花)、ナワシロイチゴ、オオバタネツケバナ (花)、キクムグラ (花)、ノゲシ (花)、キツネノボタン (花)、トキワハゼ (花)、カスミザクラ (花)、ハハコグサ (花)、レンゲ (花)、ヘビイチゴ (花)、オオバコ、センニンソウ、ツクバキンモンソウ (花)、チゴユリ (花)、ギンリョウソウ (花)、スズメノカタビラ (花)、ノミノフスマ (花)、タガラシ (花)、フユノハナワラビ、フデリンドウ (花)、ギンラン (花)、キツタ (花)、スイカズラ、ピロードイチゴ、ミツバ、ニオイタチツボスミレ (花)、ガマ、セリ、ヒヨドリジョウゴ、アキノノゲシ、ヨウシュヤマゴボウ、ウシハコベ、キッコウハグマ、ミツデウラボシ (胞子)、ヨモギ、シロダモ、クツルリンドウ、イワナシ (果実)、ウメモドキ 1、ノキシノブ (胞子)、エゾノギシギシ、ナツズイセン、アベマキ

◎参加者：稲原ヒサエ、稲原良三、岩井幸恵、榎本智恵子、太田 理、北川ちえこ、鈴木永子、妹尾雅弘、高見君江、長島照文、中野潤子、西畑敬一、三原真人 (以上 13 名)

### 《北河内のキノコのスライドのご案内》木村雅行

2022 年 4 月 1 日発行の「北河内のキノコ目録」に掲載のキノコのうち約 100 種をカラー写真で掲載していますのでご覧ください。

北河内のキノコ ダウンロードページ

<http://waraineko.life.cocan.jp/kitakawatikinoko.html>



《会員交流コーナー》\*\*\*\*\*

<教えて>昨日、大阪北港マリーナ（元大坂北港ヨットハーバー）～淀川左岸の調査をしてきました。今回初めて河川敷の一部を歩きました。調査した河川敷にはフトボメリケンカルカヤがその上の堤防斜面にはメリケンカルカヤが住み分けするように群生していました。ハマウドやヤノネボンテンカもたくさん見ました。その河川敷で不明種の植物がありました。分かる範囲で教えてください。・赤い実の木本はツルウメモドキでいいでしょうか。・不明種 A はハマアズキとかハマナタマメかなあとと思ったのですが。木本のようにしっかりしていました。・不明種 B は肉厚の葉で全く分かりません。一株しかありませんでした。アカザの仲間を調べましたが確当するような種を見つけることができませんでした。なにとぞ、よろしく願い致します。（12/14 北川ちえこ）

<冬のこんな時期に?!>最近、いつも歩いている山で、ツツジが咲いているのを見つけました。飯盛山・三好道(北条神社から上がる)の中腹です。これも異常気象の現れでしょうか。添付した写真は12月15日のものです。葉が赤茶色に枯れているのも、まだ緑を保っているものもあります。10日ほど後また行って見たら、ずっと下の方に同じようなのがもう一株ありましたが、上のほうのはなくなっていました。珍しくないかもしれませんが、私としましては初めての発見ですので、お知らせします。（12/26 磯田一雄）

<寝屋川展示会>1月21日～26日寝屋川市アルカスホール1階ギャラリーで行われていた寝屋川市自然を学ぶ会の展示会『私の自然観察』が終わりました。早速、学ぶ会・山田会長さんよりお礼と展示会の様子などの写真も頂きました。こちらこそお世話になり、ありがとうございましたとお伝えしました。（1/26 太田理）

<教えて>調査スタッフから、マツバランではないかというメールが入りましたが、マツバランそのものを知りません。知っておられる方、以下の文で、何か答えていただけないでしょうか。よろしく願い致します

「さて、吉川さんから写真が送られてきました。マツバランというのはシダ類ですね、ひょっとしてうちのマキの鉢から出たのと同じではないかと思ったのですが、標本をとらなかったのが残念です。たぶん住吉さんに行けば見れるかもしれないけど、境内なら採集はできないですね。」  
(1/30 北川)

<ミズバショウ>府民の森くろんど園地八つ橋では今、ミズバショウの見頃です。カタクリ、ショウジョウバカマも見頃ですね。近くで見ることが出来ていつ見ても感激です。水に映る緑と純白に心洗われそうです。（3/30 稲原良三）

<教えて>下記のようなメールが来ましたが、シロヤブケマンも、ニセカラクサケマンも知りません。わかる方、教えてください。よろしく願い致します。

件名: シロヤブケマンではなくニセカラクサケマンのようです「うちの近所の公園の話ですすみません。先日紹介した、ムラサキケマンに似た花の件です。最初はシロヤブケマンだと思っていたのですが、> もう一度、拡大写真を撮って、花の先の形が違う、葉の切れ込みもちょっと違うなど思い、さらに探したところ、同じケシ科ですが、異なる属のニセカラクサケマンじゃないかなと。ニセカラクサケマン（カラクサケマン属 外来）」（4/6 北川）

<教えて>写真はいまいちうまく撮れなかったのですが分かりましたら種名を教えてください。よろしく願い致します。

スマレの仲間（スマレ 1.jpg、スマレ 2.jpg）2022年4月16日京都梅小路公園いのちの森。ツボスマレではないかと。花は径1.5cmくらい。側弁に立った毛。萼の裏に短毛。托葉は細長く鋸歯が目立たない。距は白く短い

水草の仲間。2022年4月17日。鶴見緑地外東の水路（サジオモダカが生えているところ）に大繁殖していました。以前、教わったような気がしますが思い出せません。茎葉は無毛。（4/19 北川）

◎異動等：なし

◎編集後記：コロナ禍、依然として感染状況等が毎日伝えられています。さらにロシアのウクライナ侵攻、悲惨なニュースがこれも毎日、どちらも一日も早い終息が望まれます。

今回のカラーグラビア版に会員の作品紹介を載せました。自分のや他の人の推薦作などお知らせ下さい。編集や投稿に関して、お気軽にご意見などお寄せ下さい。（太田）

【諸連絡の窓口】 ◇会の代表者・会長：西畑敬一 072-876-8114  
◇会費の納入・会計に関して：稲原良三 072-892-8507  
◇会報の投稿・編集に関して：太田理 0743-79-9665 会員交流コーナーなども太田宛メールか郵送で送ってください。 ma36ux75ml@kcn.jp 〒575-0013 四條畷市田原台 7-5-2

北河内自然愛好会 年会費 1000 円 郵便振替 00970-4-103735

## 目 次

2022 年度北河内自然愛好会総会要項（決定事項）（太田理・記）	-----1
第 426 回例会「鶴見緑地公園 咲くやこの花館」高見君江	-----2
※第 427 回例会「野草を食べる」は中止になりました。	
第 428 回例会「下田原の里山・里山一斉調査」太田 理	-----3
第 429 回例会「穂谷散策」西畑敬一	-----4
《北河内のキノコのスライドのご案内》木村雅行	-----5
会員交流コーナー	-----6
異動、編集後記	-----6
カラーグラビア版	-----別刷
例会案内	-----別刷